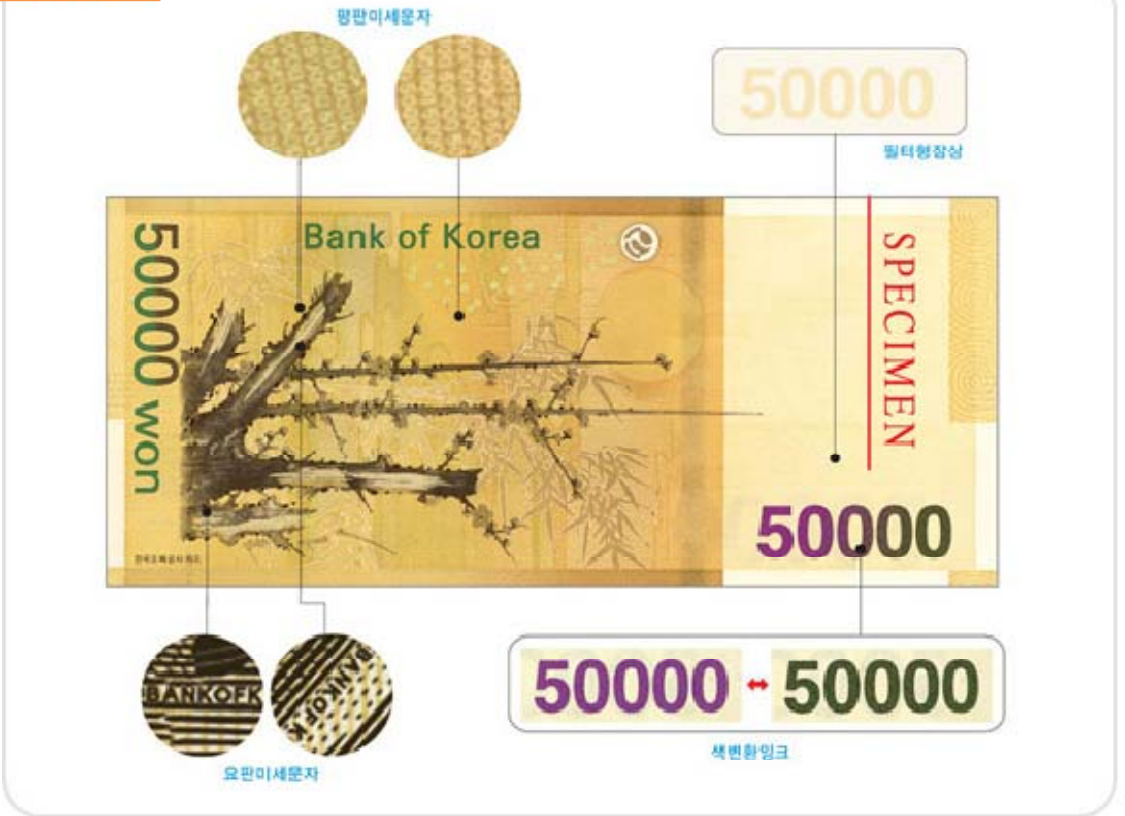


50000ウォン札の重要偽造装置適用の内容

表面



裏面



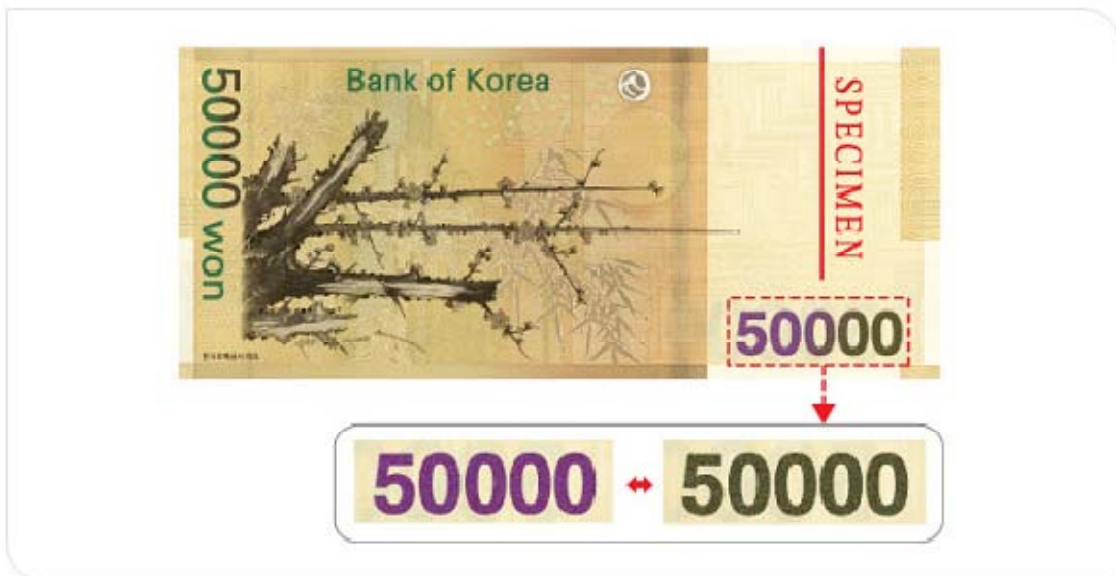
ホログラム: 銀行業界最初帯型ホログラムを適用し、高額札としての視覚的な差別性と上品な偽造防止機能を備えている。見る角度によって1.韓半島2.太極模様3. 4卦が上、中、下の3箇所にも重畳された方式で出ており、その間に金額の50,000という数字が上下2箇所に表示されている。一方、紙地には幾何学的な柄を適用し、ホログラムの左側の端には“bank of korea 50000”が上下2箇所、右側には伝統格子縞が一本が適用されている。



立体型部分の銀色の線:工学的原理を利用して、観察角度と文様がお互いに違う方向で動いているように見えることで、深さと立体感をあげる先端偽造防止技術として、青灰色(Bluish grey)の紙地に数個の円方太極の模様を連続的に適用、お札を上下、左右に傾けると太極模様は左右、上下方向に動くようにする。



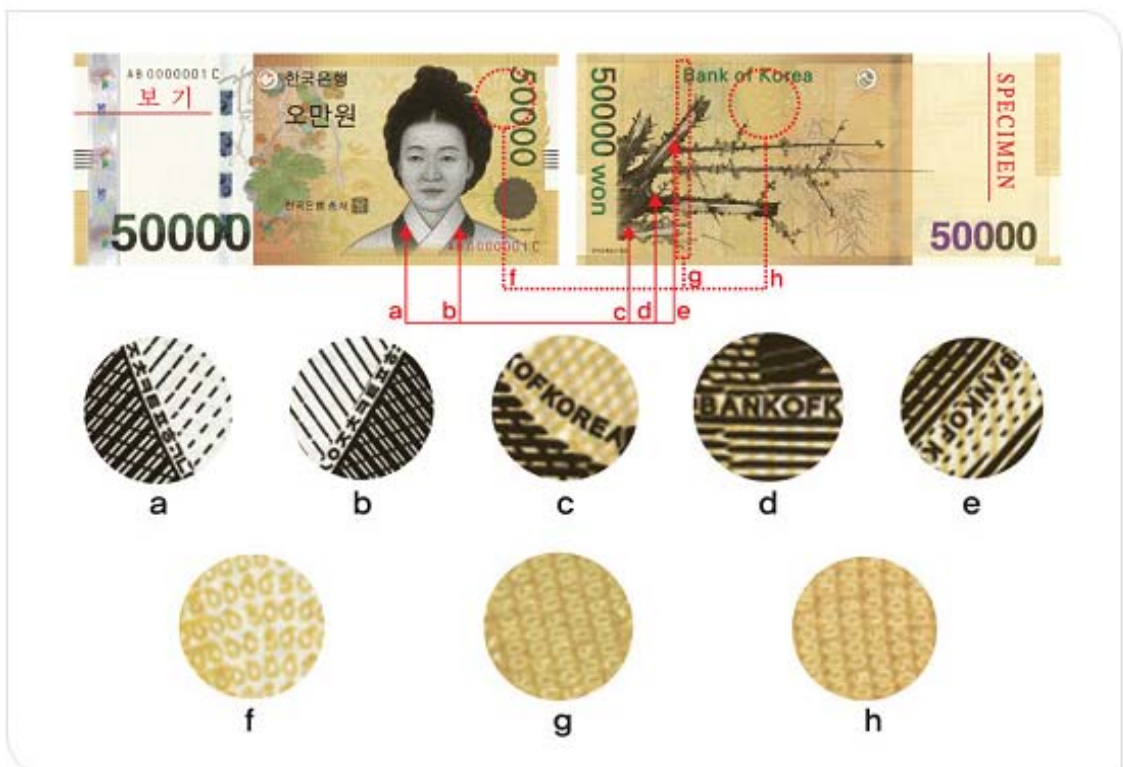
色変換インク:光反射の特性が相違な物質で製作された特殊インクを適用し、裏面の右側の数字(5000)の色が見る角度により紫色から緑色に連続的に変化する。



凹版潜像: 既存の新札3金種と違い円型構図を採択し、凸版印刷の記法を活用して斜めから見ると隠れている文字“5”が現れる。



微細文字: 肉眼ではほぼ見られないし、拡大鏡で識別可能ないろいろな種類の微細な文字(ハングル子音“50000または“bank of korea”)を裏と表面のいろんな部分に配置。



隠れている隠線: 光を当てて見れば、文字(“韓国銀行 BANK OF KOREA 50000”)が正しくまた上下が反対に代わり合って印刷され、蛍光処理された薄いプラスチックの帯が見える。



突出隠画: 用紙の厚みの差を最大化し、光に当てて見なくても隠される絵の五角形の中の数字“5”が肉眼で識別される。



隠しえ: 用紙の薄い部分と厚い部分の明暗差を利用して、光に当てて見ると印刷された人物肖像を眺める方向に人物肖像と類似な絵が確認される[効果改善]



凸版印刷: 申師任堂の肖像、月梅図、文字と数字などを触って見ると、凸凹な感触がある。

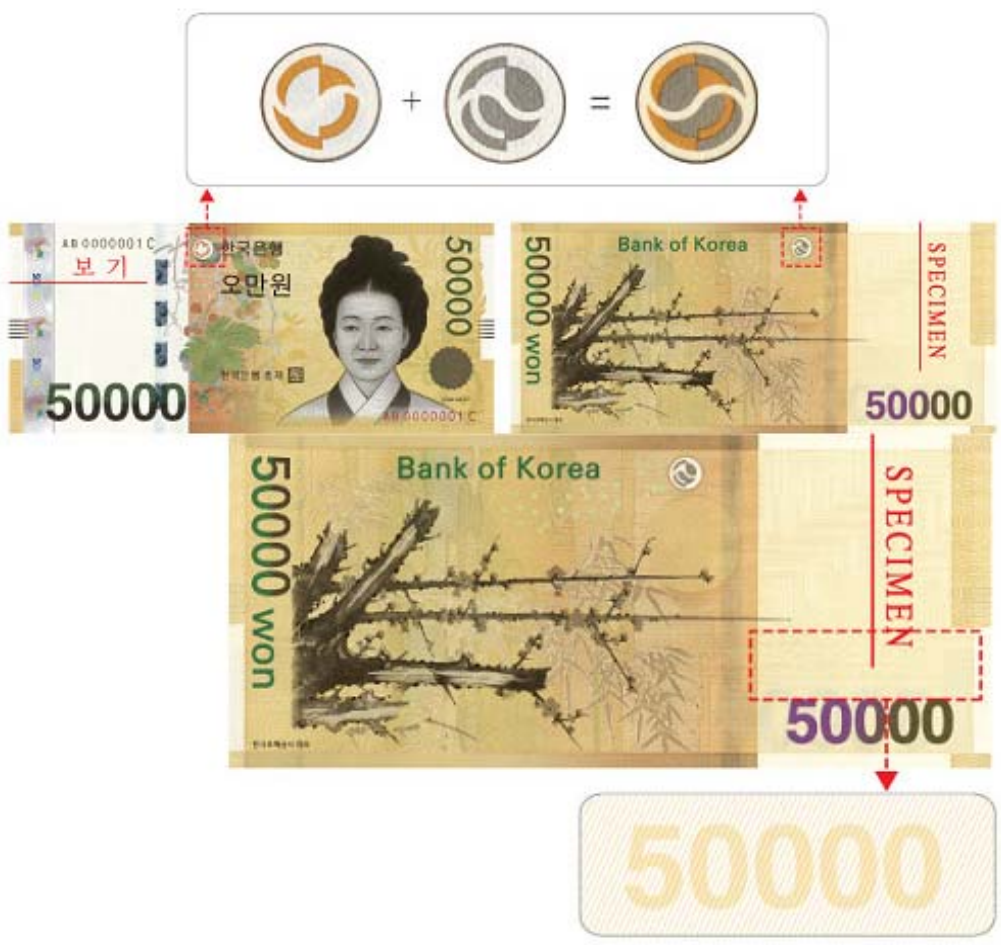


凹版エンドリス: 左右の端にある小さい線を触ると凸凹な感触がある

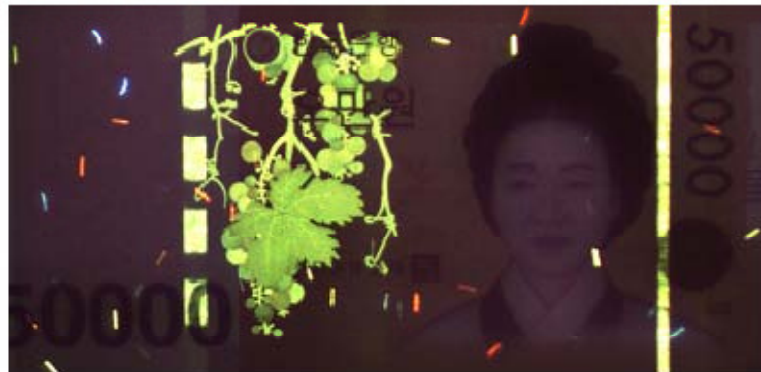


表裏版合わせ: 丸い円の中の柄を光にあてて見ると、表版と裏版の柄を併せて完全な太極の様子が完成される。

フィルター型潜像



蛍光インク及び隠糸





横並び拡大型の記番号



AB 0000001 C



AB 0000001 C

50,000ウォン札の図案

앞면



뒷면

